

松監事第16号  
令和4年8月17日

松本市岡田財産区  
管理者 松本市長 臥雲 義尚 様

松本市監査委員 上 杉 陽 一  
同 竹 本 祐 子  
同 上 條 俊 道

令和3年度松本市岡田財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和3年度松本市岡田財産区特別会計歳入歳出決算とその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

## 令和3年度松本市岡田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

### 第1 審査の対象

令和3年度松本市岡田財産区特別会計歳入歳出決算

### 第2 審査の期間

令和4年6月1日から令和4年8月16日まで

### 第3 審査の方法

松本市監査基準に従って策定した令和3年度決算審査等実施計画に基づき、提出された決算その他関係書類が法令に適合し、かつ、正確であるか、また、予算の執行状況、会計処理の適否、計数の正否、財産の管理状況等に主眼を置いて検証し、審査を実施しました。

なお、審査に当たっては、決算状況その他を把握できる調書や、事務執行に関する各種帳簿類等審査に必要な書類の提出を求め、必要に応じて説明を受けました。また、審査を効率的、効果的に実施するため、例月現金出納検査など、これまでの監査の結果を踏まえて審査を実施しました。

### 第4 審査の結果

上記のとおり審査した限り、その重要な点において、審査に付された歳入歳出決算、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも法令の規定に準拠して作成されており、記載数値については、関係諸帳簿及び証書類と照合の結果、いずれも符合し、正確であると認められました。

なお、決算の概要及びこれらに対する意見については、次に述べるとおりです。

#### 1 決算の概要

##### (1) 総括

予算現額 3,960 万円（前年度比 504 万円、14.6%増）に対し、歳入の決算額は 4,305 万 7,553 円（前年度比 816 万 485 円、23.4%増）、歳出の決算額は 3,524 万 1,647 円（前年度比 538 万 6,633 円、18.0%増）で、形式収支は 781 万 5,906 円（前年度比 277 万 3,852 円、55.0%増）となっています。

なお、翌年度へ繰り越すべき財源はありませんので、実質収支も形式収支と同額の 781 万 5,906 円の黒字決算となっています。

### 決 算 収 支

(単位：円、%)

区 分 \ 年 度	3 年 度 (a)	2 年 度 (b)	比較増減 (c)=(a)-(b)	増減率 (c)/(b)
予 算 現 額	39,600,000	34,560,000	5,040,000	14.6
歳 入 決 算 額	43,057,553	34,897,068	8,160,485	23.4
歳 出 決 算 額	35,241,647	29,855,014	5,386,633	18.0
歳入歳出差引額 (形式収支)	7,815,906	5,042,054	2,773,852	55.0
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	—
実 質 収 支	7,815,906	5,042,054	2,773,852	55.0

#### (2) 歳入

収入率は、予算対比 108.7%、調定対比 100.0%で、歳入の主なものは、県補助金 1,704 万 7,800 円、一般会計繰入金 730 万 6,200 円、雑入（木材売払い収入等）564 万 5,747 円、土地貸付収入 506 万 3,167 円です。

決算額は、前年度と比較して 816 万 485 円(23.4%)の増となっています。これは、県補助金、一般会計繰入金及び雑入（木材売払い収入）が増加したことなどによるものです。

### 歳 入 状 況

(単位：円、%)

区 分 款 別	予算現額	調 定 額	収入済額	収 入 率		収入済額 構成比
				予算対比	調定対比	
県支出金	16,410,000	17,047,800	17,047,800	103.9	100.0	39.6
財産収入	5,440,000	5,415,688	5,415,688	99.6	100.0	12.6
繰 入 金	9,630,000	9,906,200	9,906,200	102.9	100.0	23.0
繰 越 金	5,040,000	5,042,054	5,042,054	100.0	100.0	11.7
諸 収 入	3,080,000	5,645,811	5,645,811	183.3	100.0	13.1
歳入合計	39,600,000	43,057,553	43,057,553	108.7	100.0	100.0
2 年 度	34,560,000	34,897,068	34,897,068	101.0	100.0	—
比較増減	5,040,000	8,160,485	8,160,485	—	—	—
増 減 率	14.6	23.4	23.4	—	—	—

### (3) 歳出

執行率は、89.0%で、歳出の主なものは、農林水産業費の委託料 2,980 万 9,300 円、総務費の財政調整積立基金積立金 252 万 3,021 円です。

決算額は、前年度と比較して 538 万 6,633 円（18.0%）の増となっています。これは、農林水産業費の委託料が増加したことによるものです。

### 歳 出 状 況

（単位：円、%）

区分 款 別	予算現額	支出済額	不用額	執行率	支出済額 構成比
議会費	720,000	235,200	484,800	32.7	0.7
総務費	4,440,000	3,568,281	871,719	80.4	10.1
農林水産業費	33,280,000	31,438,166	1,841,834	94.5	89.2
予備費	1,160,000	0	1,160,000	—	—
歳出合計	39,600,000	35,241,647	4,358,353	89.0	100.0
2 年度	34,560,000	29,855,014	4,704,986	86.4	—
比較増減	5,040,000	5,386,633	△ 346,633	—	—
増減率	14.6	18.0	△ 7.4	—	—

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

年度末現在高は、山林 10,146,061.53 m<sup>3</sup>、建物（非木造）30 m<sup>3</sup>、ともに年度中の増減はなく、立木の推定蓄積量は、625 m<sup>3</sup>増加し、106,776 m<sup>3</sup>となっています。

出資による権利は、松本広域森林組合への出資金 6 万 1,000 円で、年度中の増減はありません。

### (2) 債権

きのこ採取権売払いによる債権は、平成 30 年度の入札（4 年契約）で 140 万 6,000 円が債権となり、そのうち令和 2 年度末までに 105 万 4,500 円が収入となり、残りの 35 万 1,500 円は令和 3 年度中に収入となったため、年度末現在高は、0 円となっています。

### (3) 基金

財政調整積立基金の年度末現在高は、5,693万332円で、前年度より7万6,979円減少しています。

## 3 監査委員の意見

本財産区は、太陽光発電事業者への土地貸付による財産収入が毎年度一定額あり、財政運営は比較的安定しています。定期的に行っている森林整備に加え、補助金を活用した松枯れ対策事業も計画的に実施され、令和3年度はこれまで以上に歳入歳出ともに事業費が増加しました。松枯れ対策事業の効果が表れ、被害地が再生するまでにはまだまだ長い時間がかかりますが、今後も計画的に森林整備を実施していくとともに、近年増加し激甚化する豪雨災害などに備え、巡視や倒木処理など森林の保全に努めてください。

また、森林は治山治水という観点のほか、脱炭素社会の実現に向けて、近年その重要性が見直されています。大切な財産を次世代へ引き継いでいくため、子どもたちが森林に親しみ、森林の大切さを実感できる取組みを引き続き実施してください。